

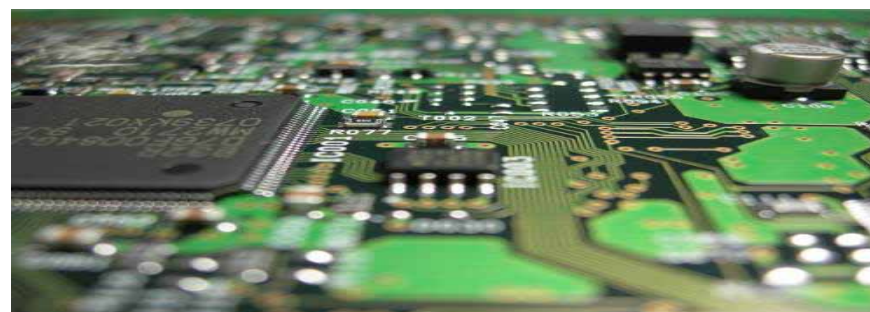
「信頼し、信頼され続けるエルナーブランド」を目指して

ELNA



平成19年12月期 決算説明会
～ 成長路線への回帰 ～

2008年2月29日 エルナー株式会社



本日のご説明内容

- ・ 平成19年12月期 通期業績のご説明
 - ・ 連結決算の概要
 - ・ 事業セグメント別損益（コンデンサ事業）
 - ・ 事業セグメント別損益（プリント回路事業）
- ・ 経営方針および平成20年12月期 業績予想
 - ・ 経営方針と具体的な取組み
 - ・ 平成20年12月期 業績予想
- ・ エルナーの製品展開

本日のご説明内容

・平成19年12月期 通期業績のご説明

- ・連結決算の概要
- ・事業セグメント別損益（コンデンサ事業）
- ・事業セグメント別損益（プリント回路事業）

・経営方針および平成20年12月期 業績予想

- ・経営方針と具体的な取組み
- ・平成20年12月期 業績予想

・エルナーの製品展開

- . 平成19年12月期 連結決算 ~ 大幅増益を実現

【平成19年12月期連結損益計算書 概要】

【単位:百万円】

	平成18年12月期		平成19年12月期		前年比	
	金額	売上高比	金額	売上高比	増減額	増減率
売上高	37,273	100.0%	39,203	100.0%	1,930	5.2%
コンデンサ事業	13,674	36.7%	13,395	34.2%	279	0.2%
プリント回路事業	23,599	63.3%	25,808	65.8%	2,209	9.4%
営業利益	867	2.3%	2,131	5.4%	1,264	145.8%
コンデンサ事業	314	2.3%	315	2.4%	629	-
プリント回路事業	1,181	5.0%	1,816	7.0%	635	53.7%
経常利益	316	0.8%	1,435	3.7%	1,119	354.0%
当期純利益	189	0.5%	1,292	3.3%	1,103	581.7%

- . 平成19年12月期 連結決算 ~ 財務体質が改善

【平成19年12月期連結貸借対照表 概要】

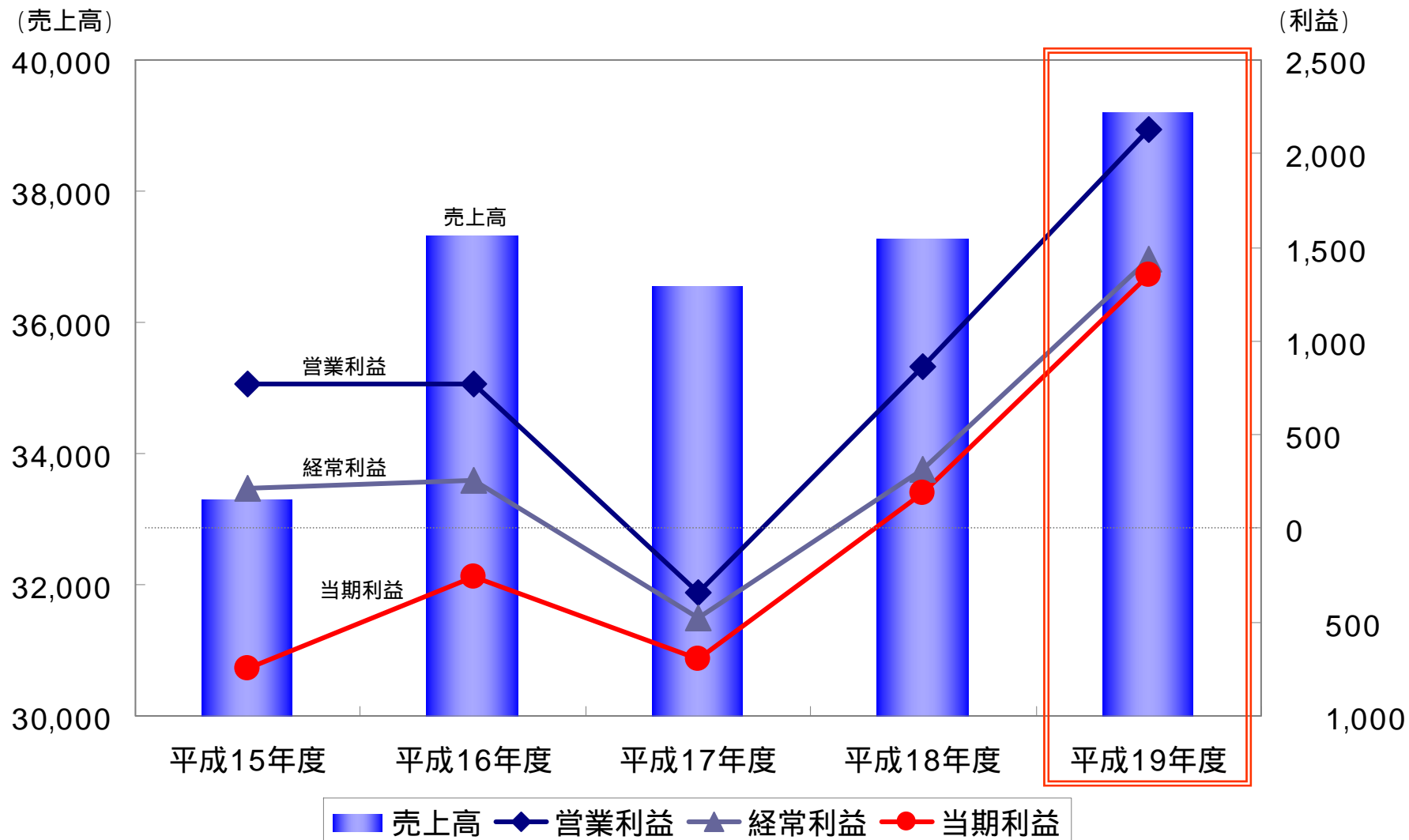
【単位:百万円】

	平成18年12月期		平成19年12月期		前年比	
	金額	総資産比	金額	総資産比	増減額	増減率
総資産	35,168	100.0%	33,077	100.0%	2,090	5.9%
負債	28,456	80.9%	24,950	75.4%	3,506	12.3%
うち有利負債	16,263	46.2%	12,349	37.3%	3,914	24.1%
純資産	6,711	19.1%	8,127	24.6%	1,415	21.1%
うち少数株主持分	1,051	3.0%	1,086	3.3%	35	3.3%
自己資本比率	16.1%		21.3%		5.2%	
総資産利益率(ROA)	0.6%		3.8%		3.2%	
純資産利益率(ROE)	4.7%		20.4%		15.7%	
D/Eレシオ	2.42倍		1.52倍		0.9倍	

- 連結業績の推移 ~ 成長路線への回帰

【連結業績推移】

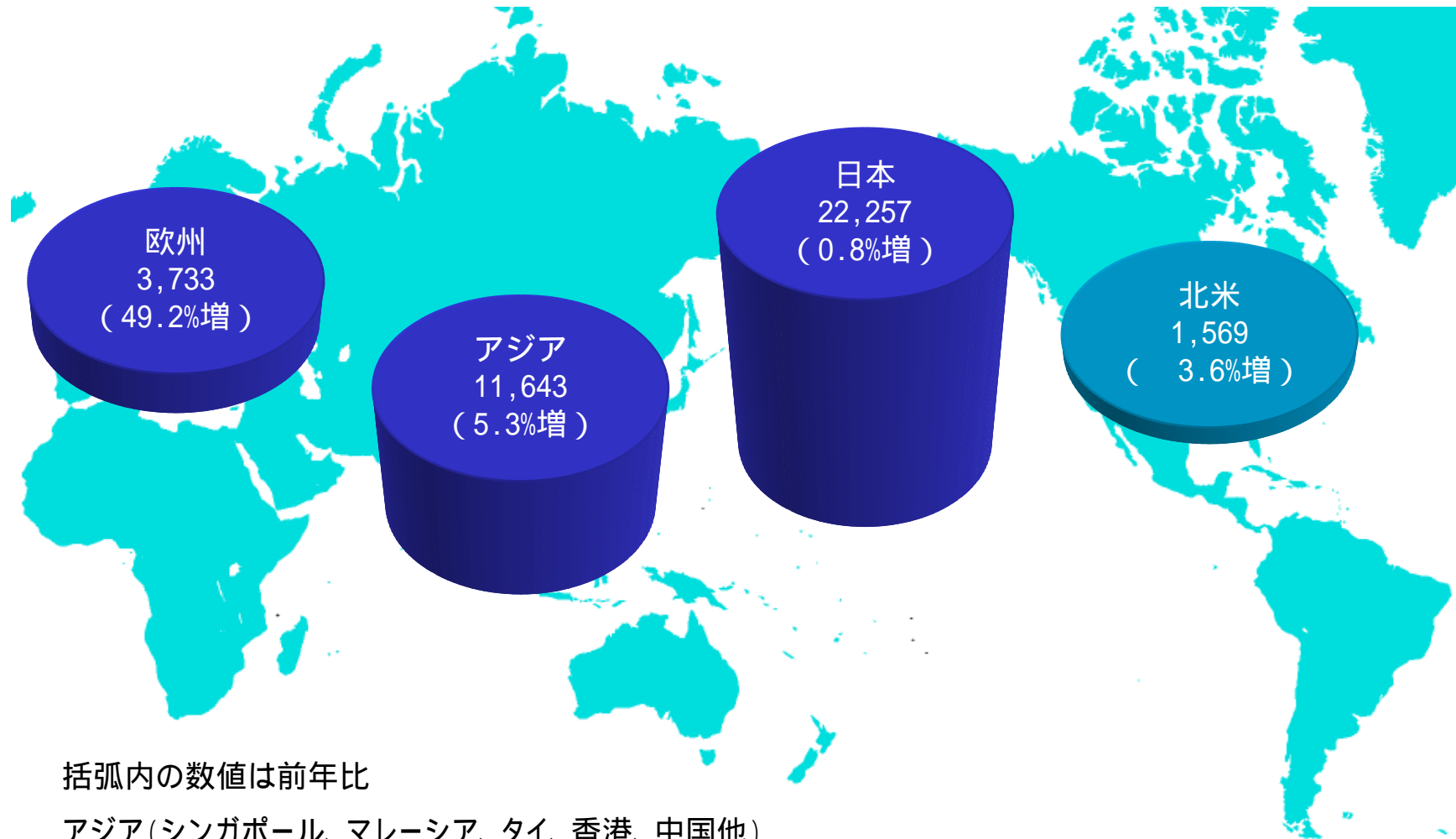
【単位：百万円】



- . 地域別売上高 ~ アジア・欧州で売上拡大

【地域別売上高】

【単位：百万円】



括弧内の数値は前年比

アジア(シンガポール、マレーシア、タイ、香港、中国他)

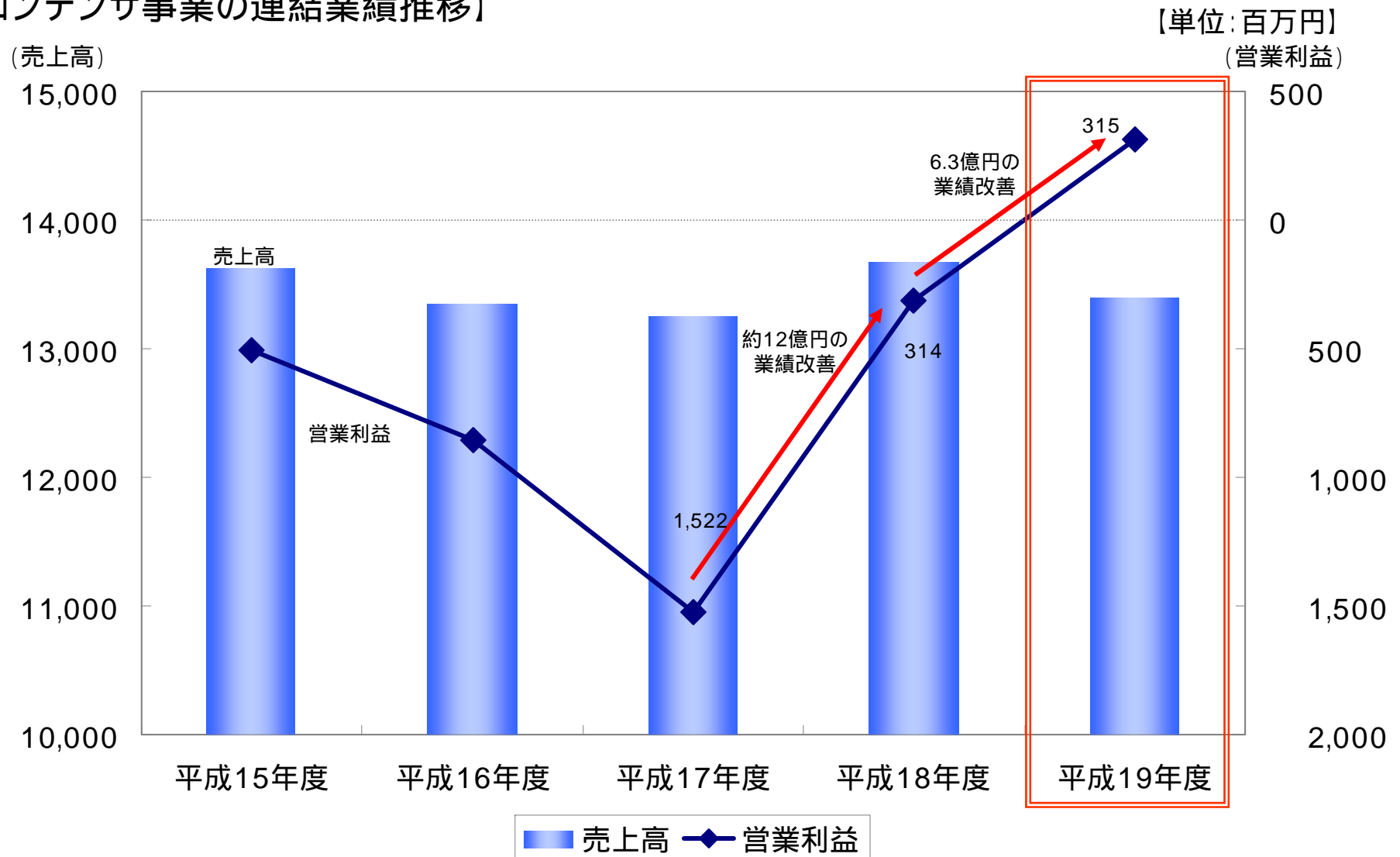
欧州(英国、ドイツ、イタリア、スウェーデン他)

本日のご説明内容

- ・平成19年12月期 通期業績のご説明
 - ．連結決算の概要
 - ．事業セグメント別損益（コンデンサ事業）
 - ．事業セグメント別損益（プリント回路事業）
- ・経営方針および平成20年12月期 業績予想
 - ．経営方針と具体的な取組み
 - ．平成20年12月期 業績予想
- ・エルナーの製品展開

- 業績推移 ~ 利益体質への変革

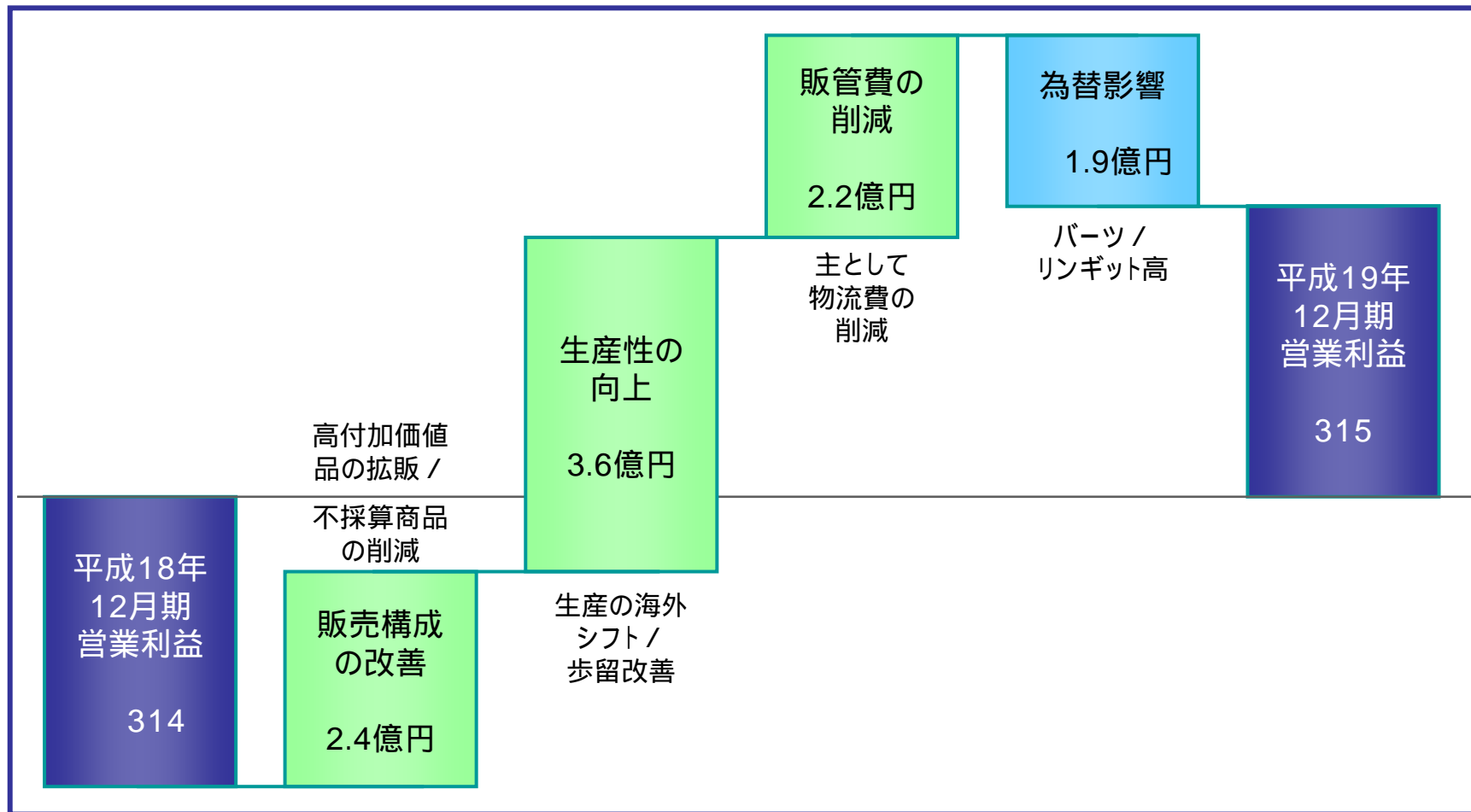
【コンデンサ事業の連結業績推移】



- 業績改善の主要因 ~ 3つの要素による改善

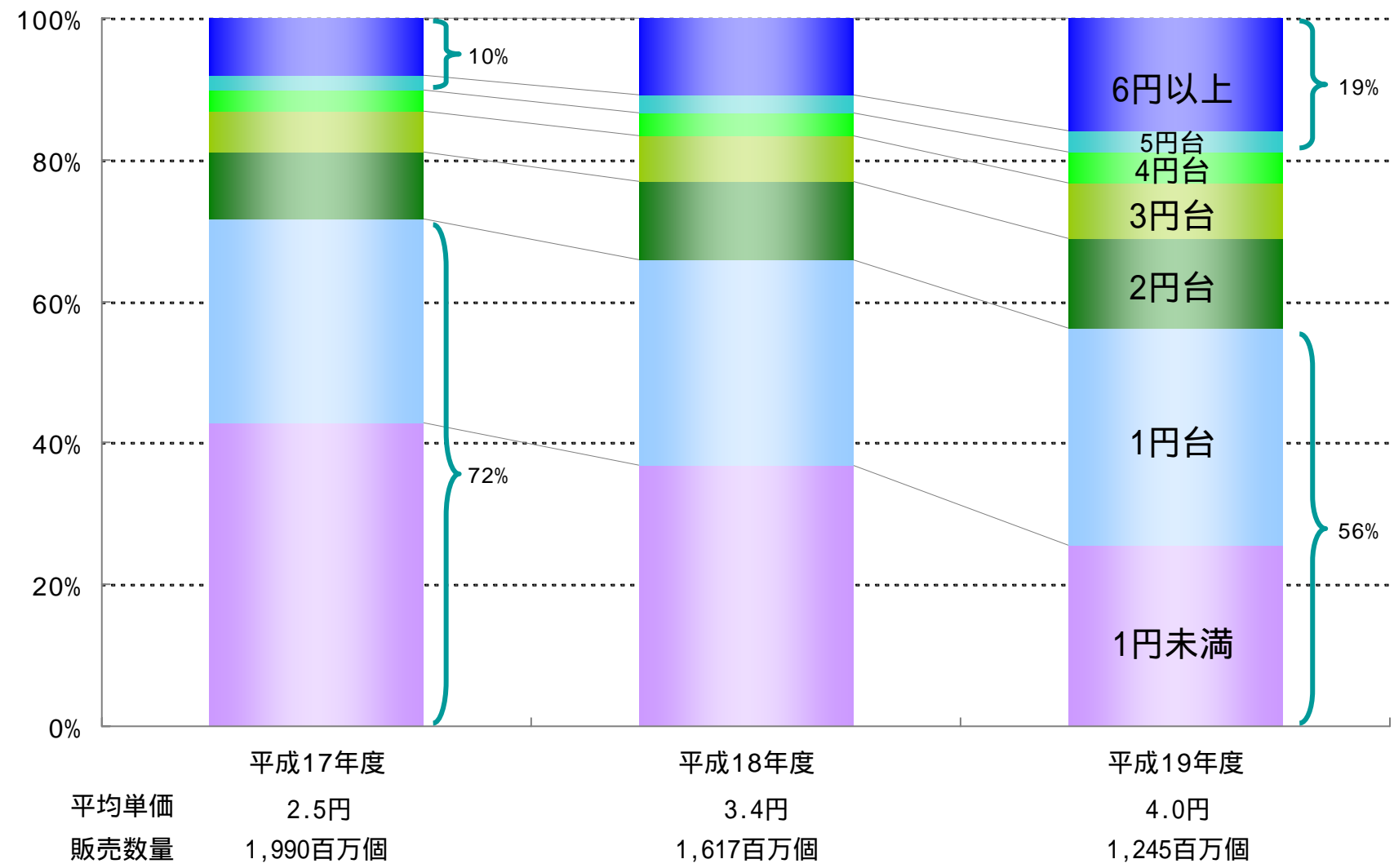
【コンデンサ事業の業績改善要因】

【単位:特に記載のないものは百万円】



- 販売構成の改善 ~ 平均単価は2年間で約1.6倍に

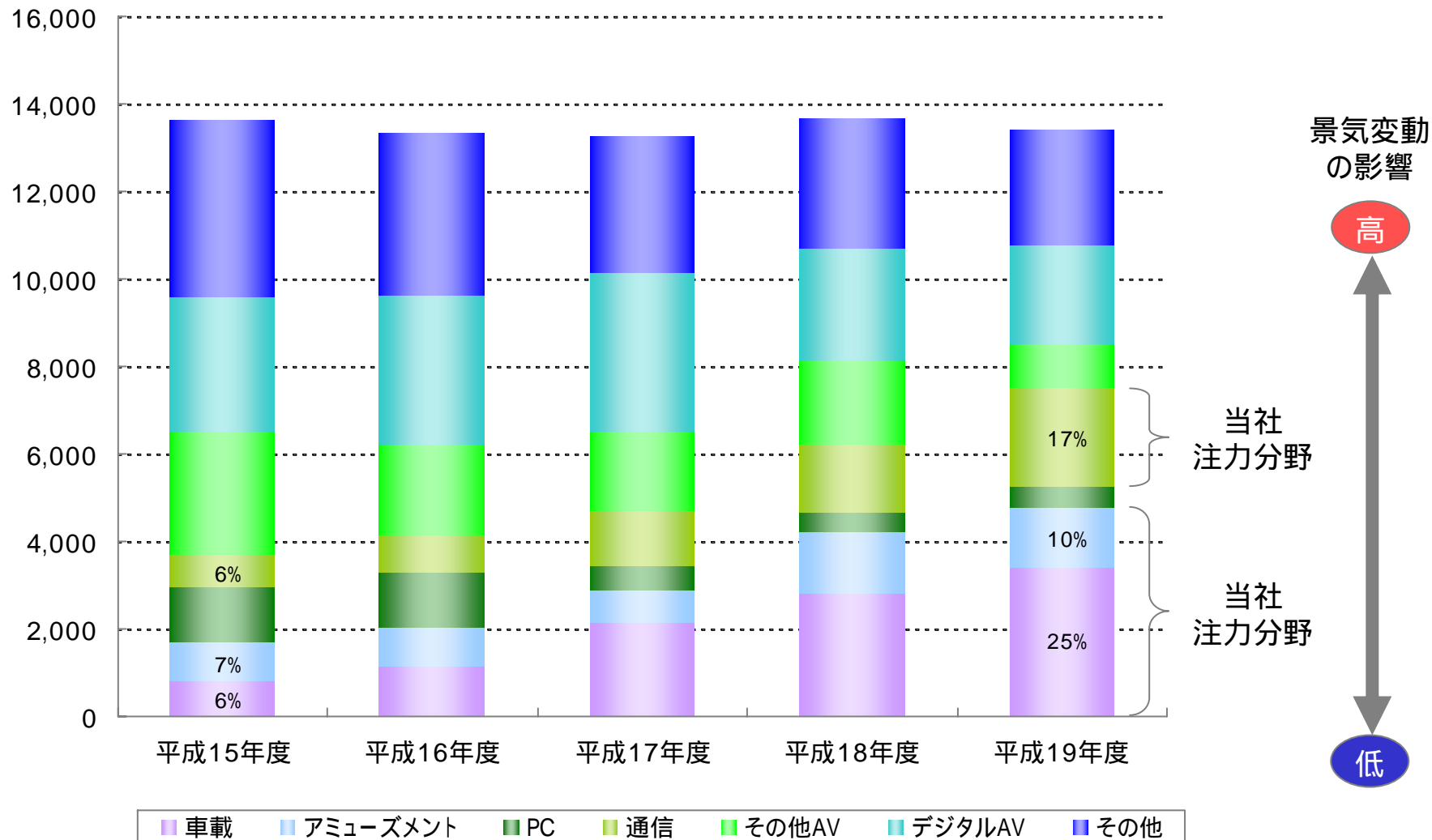
【小型アルミ電解コンデンサの単価別販売割合(数量ベース)】



- . 用途別売上高 ~ 不況に強い体質の構築

【コンデンサ事業の用途別売上高】

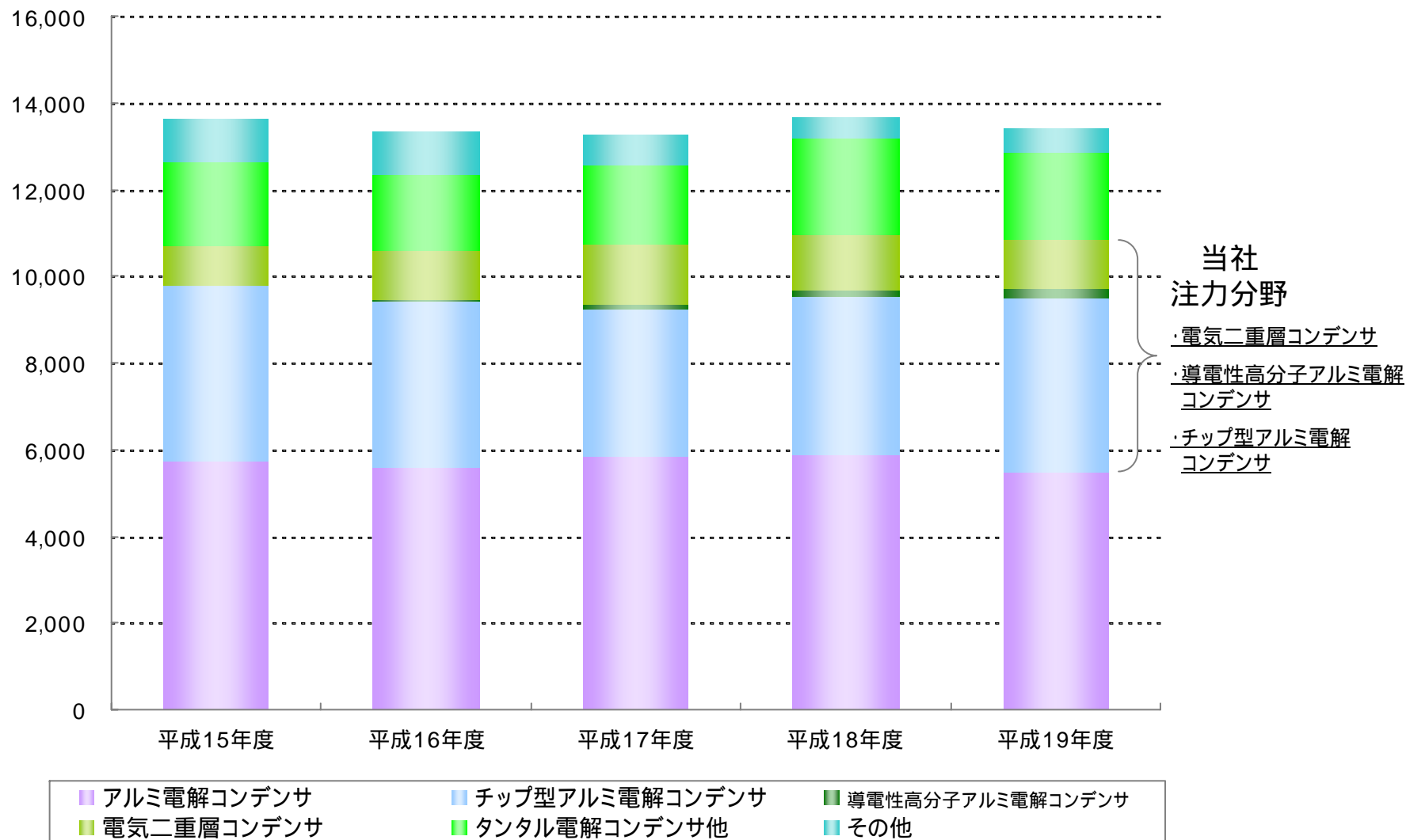
【単位:百万円】



- 品目別売上高 ~ 品目別構成に大きな変化はない

【コンデンサ事業の品目別売上高】

【単位:百万円】



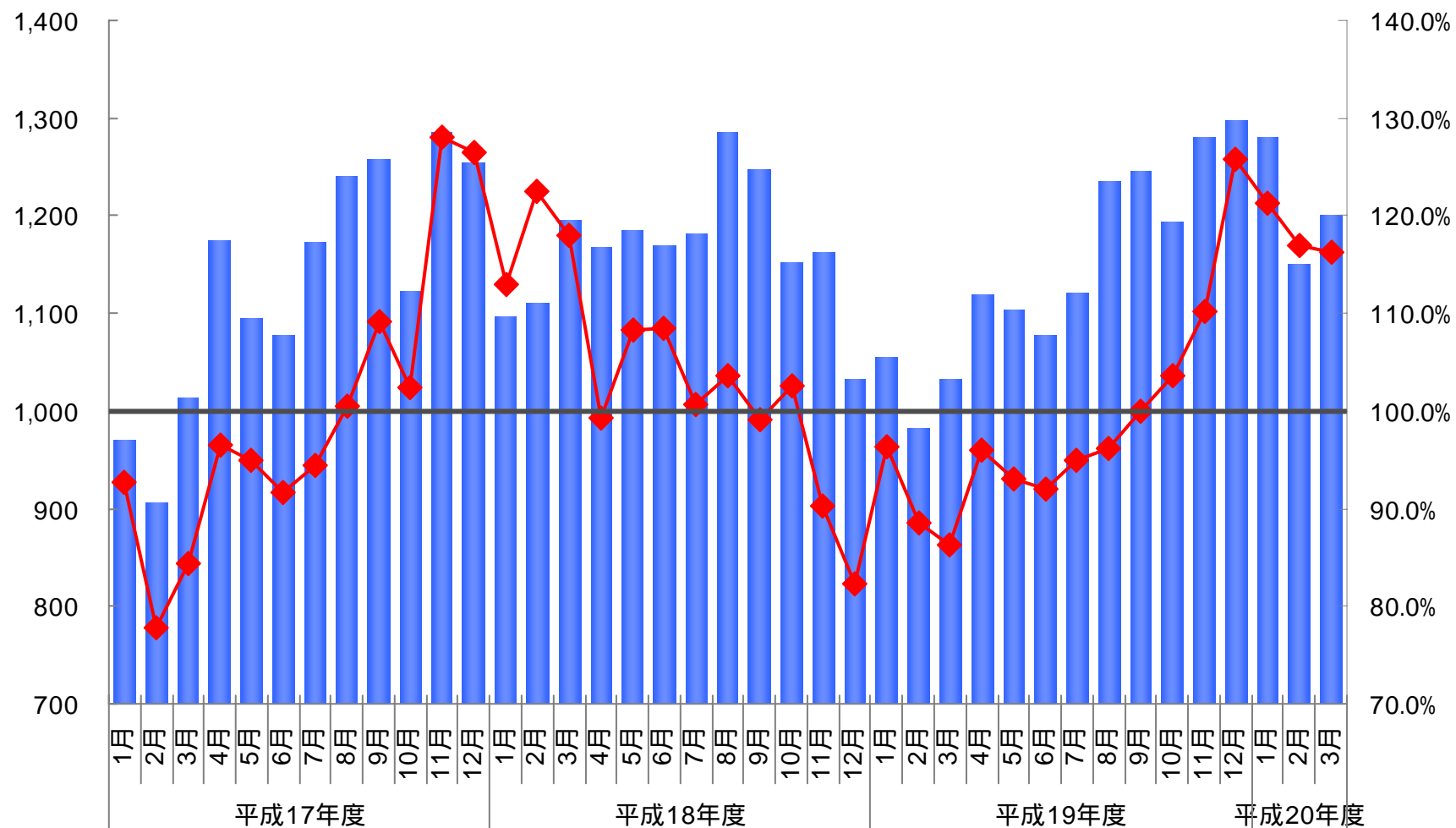
- . 受注動向の推移 ~ 受注は拡大傾向にある

【コンデンサ事業の受注高推移 (棒グラフは受注高、折線グラフは前年同月比)】

【単位:百万円】

(月次受注高)

(前年同月比)

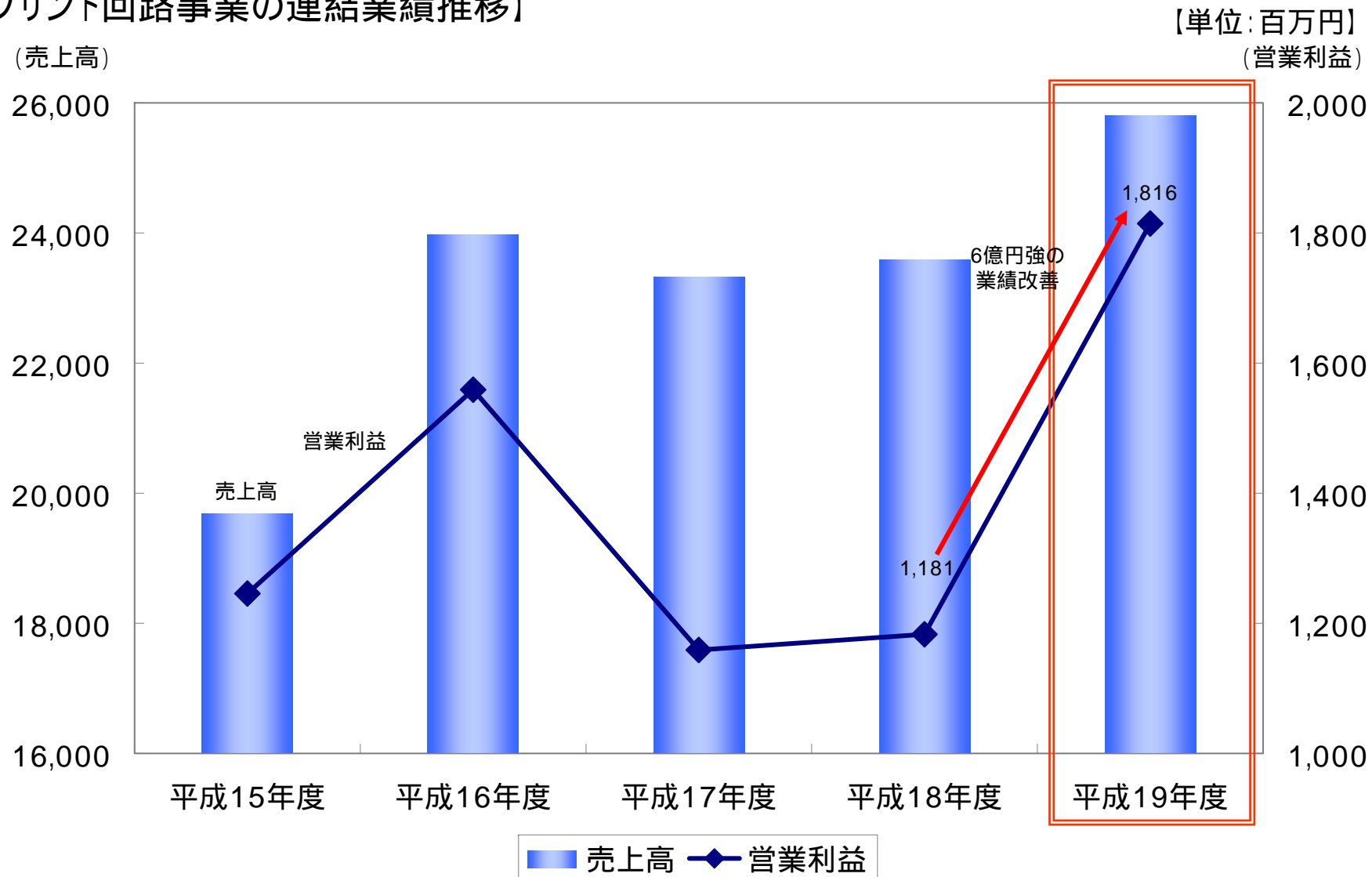


本日のご説明内容

- ・ 平成19年12月期 通期業績のご説明
 - 連結決算の概要
 - 事業セグメント別損益（コンデンサ事業）
 - 事業セグメント別損益（プリント回路事業）
- ・ 経営方針および平成20年12月期 業績予想
 - 経営方針と具体的な取組み
 - 平成20年12月期 業績予想
- ・ エルナーの製品展開

- 業績推移 ~ 原料価格高騰を克服し増益を実現

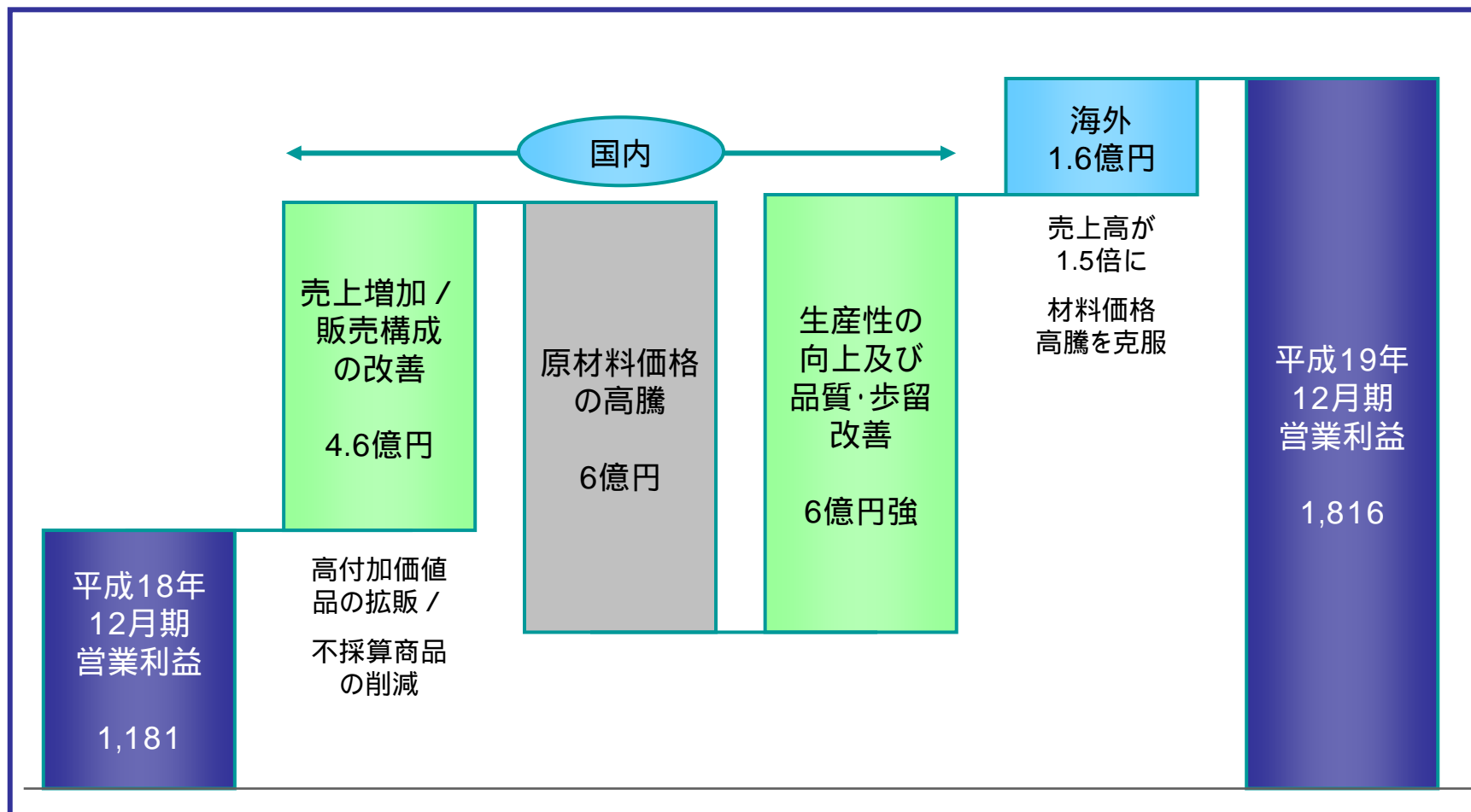
【プリント回路事業の連結業績推移】



- 業績改善の主要因 ~ 売上増、生産性向上による増益

【プリント回路事業の業績改善要因】

【単位：特に記載のないものは百万円】



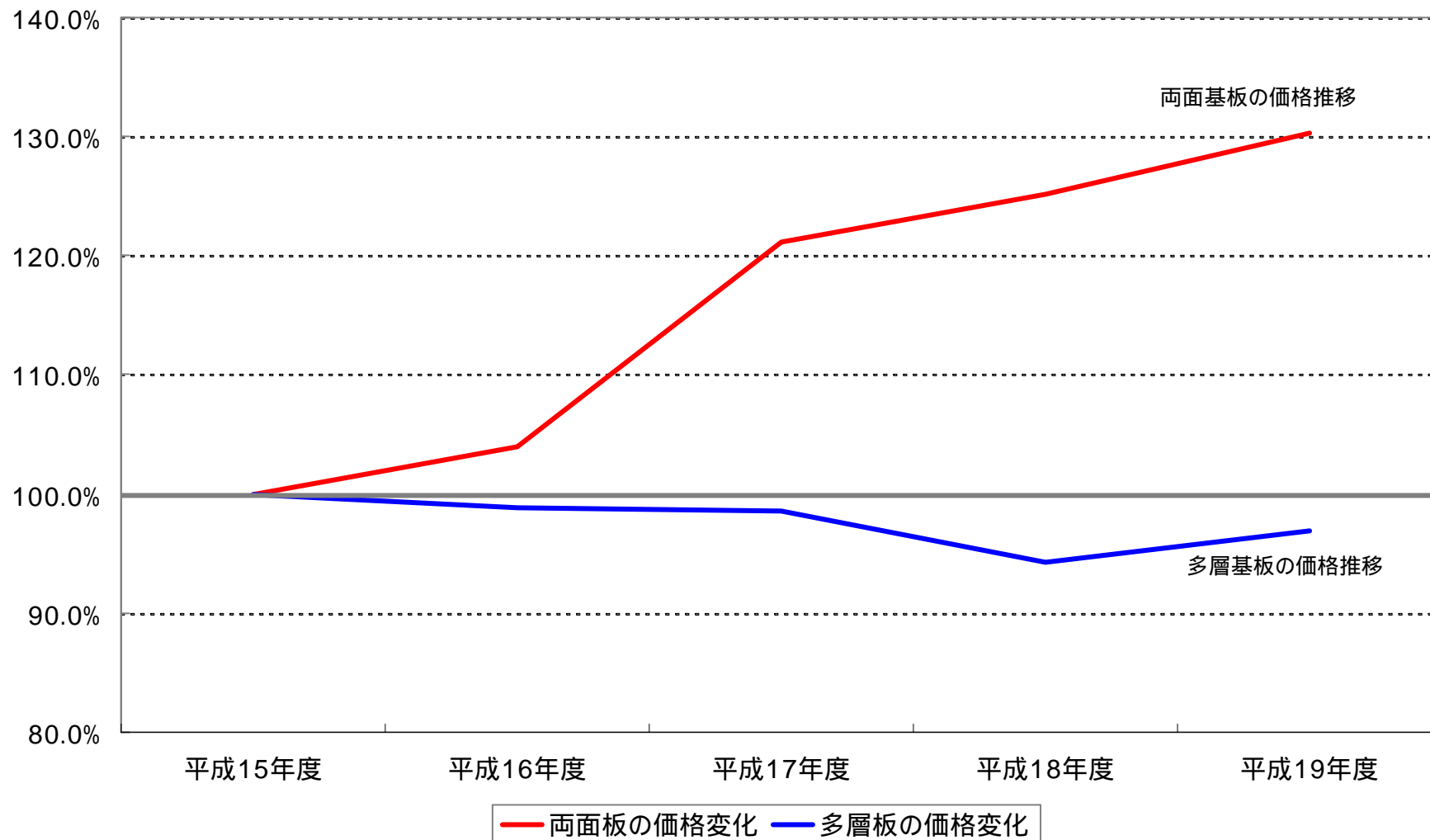
平成18年
12月期

6.4億円の営業利益改善

平成19年
12月期

- . 単価推移 ~ 平成19年12月期は単価が上昇

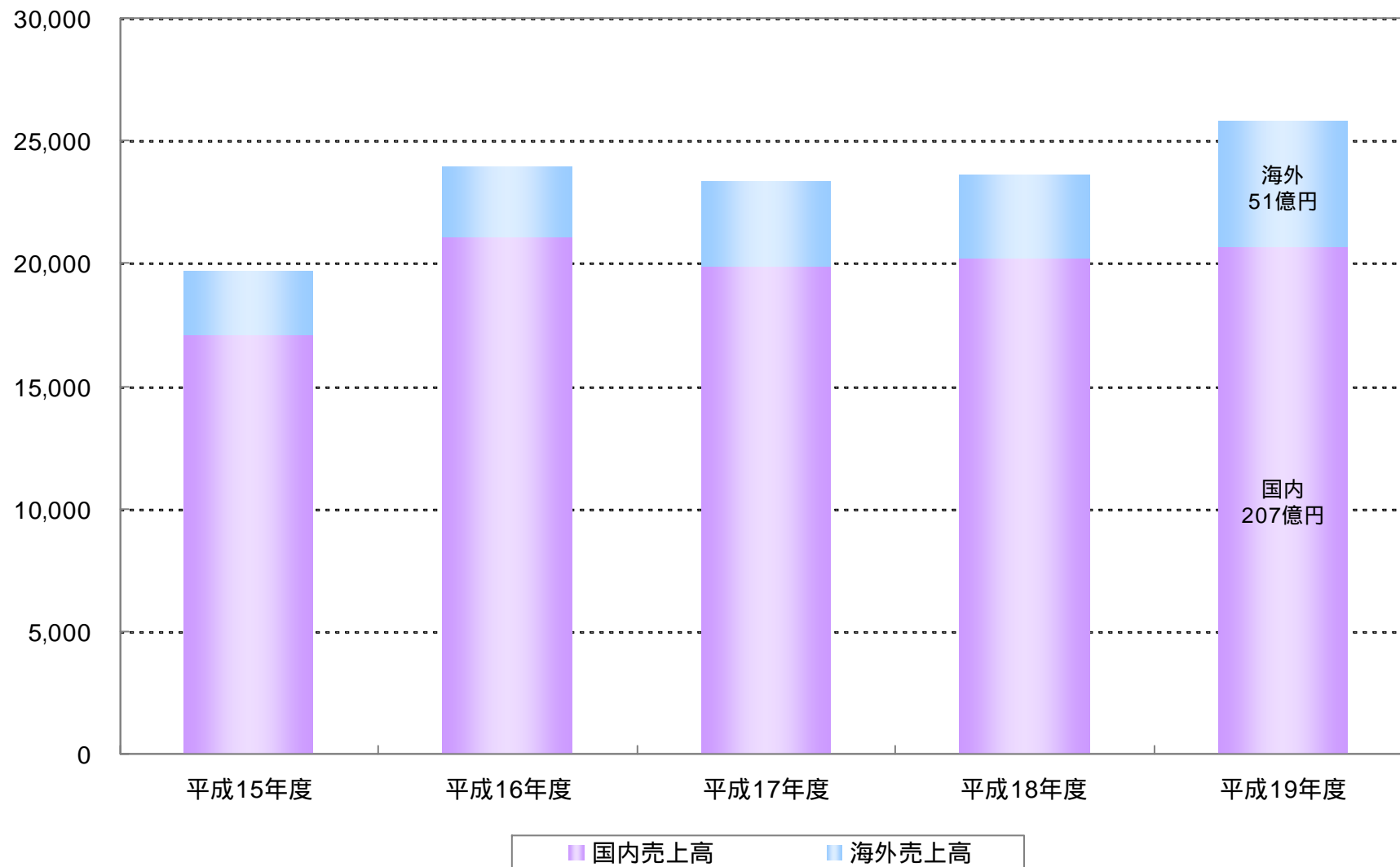
【平成15年度を100%とした場合のプリント配線板単価推移】



- . 国内 / 海外売上推移 ~ 国内 / 海外とも拡大傾向

【プリント回路事業の国内 / 海外売上推移】

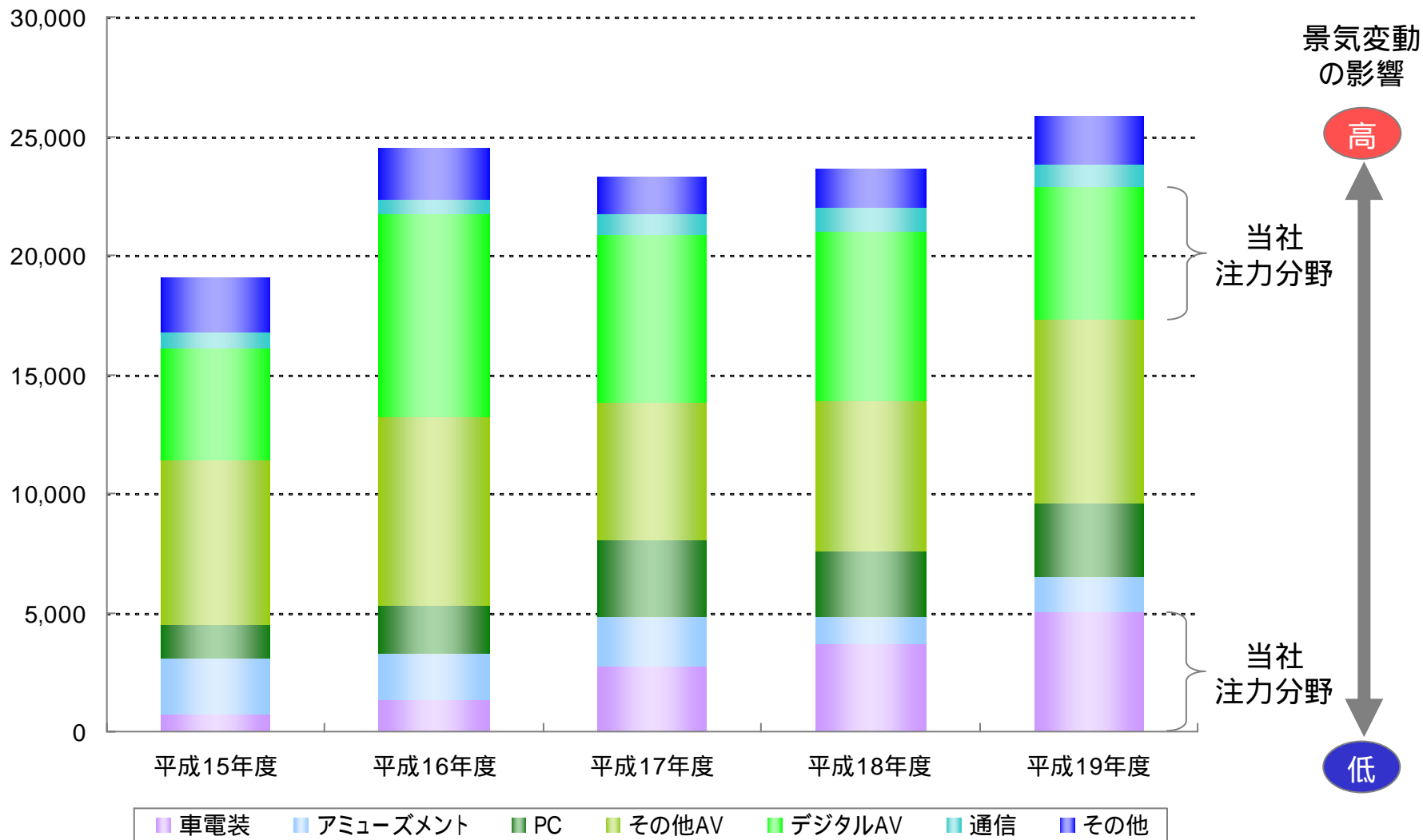
【単位:百万円】



- . 用途別売上高 ~ 不況に強い体質を構築

【プリント回路事業の用途別売上高】

【単位:百万円】



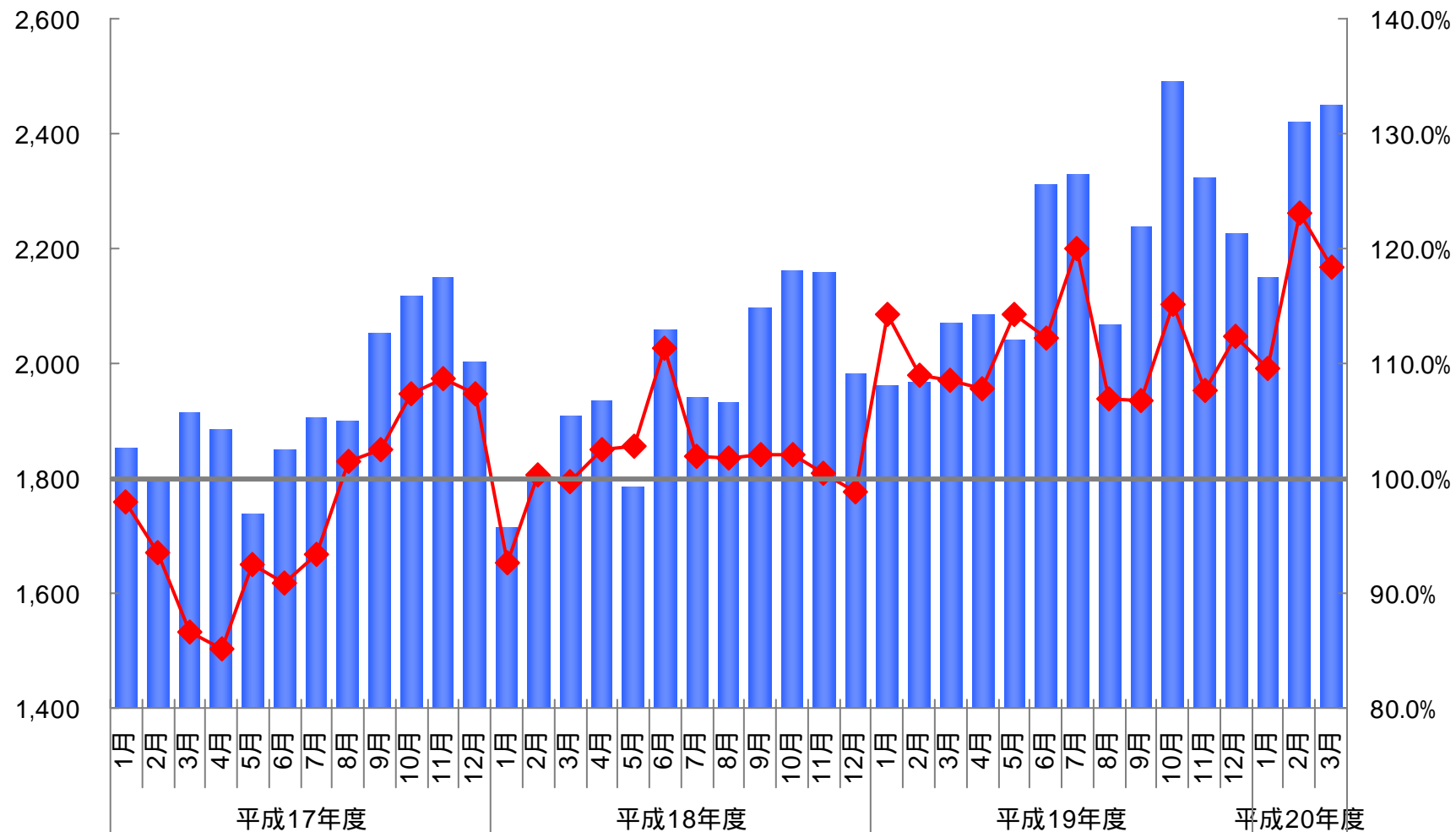
- . 受注動向の推移 ~ 受注は拡大傾向にある

【プリント回路事業の受注高推移 (棒グラフは受注高、折線グラフは前年同月比)】

【単位:百万円】

(月次受注高)

(前年同月比)



本日のご説明内容

- ・平成19年12月期 通期業績のご説明
 - 連結決算の概要
 - 事業セグメント別損益（コンデンサ事業）
 - 事業セグメント別損益（プリント回路事業）
- ・経営方針および平成20年12月期 業績予想
 - 経営方針と具体的な取組み
 - 平成20年12月期 業績予想
- ・エルナーの製品展開

- 経営方針 ~ 成長路線への回帰を目指して

平成20年12月期は中期計画の最終年。

エルナーは成長路線への回帰を目指して、各種施策に取り組んでまいります。

コンデンサ事業

- 高付加価値品の拡販
(導電性高分子アルミ電解コンデンサ、電気二重層コンデンサ、車載用コンデンサ等)
- 生産性の向上(最適な生産配分の実現、歩留の改善等)

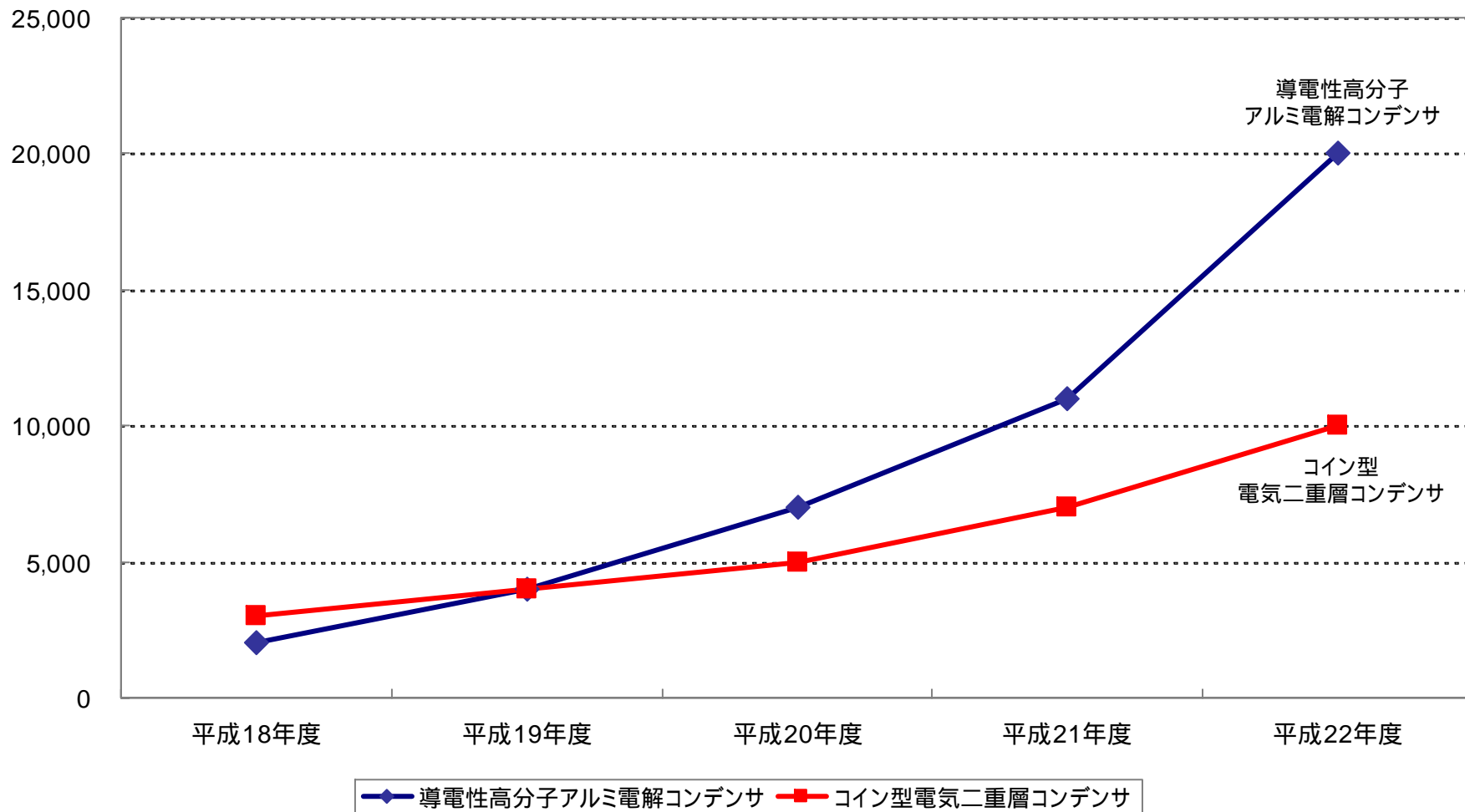
プリント回路事業

- 技術志向商品の拡販
(ビルドアップ基板、薄板・超ファイン基板、高多層基板、車電装基板、産業用基板)
- ASEAN地域への拡販

- コンデンサ事業の取組み ~ 高付加価値品の拡販

【導電性高分子アルミ電解コンデンサおよび
コイン型電気二重層コンデンサの売上数量推移】

【単位:千個/月】



- . コンデンサ事業の取組み ~ 最適な生産配分の実現

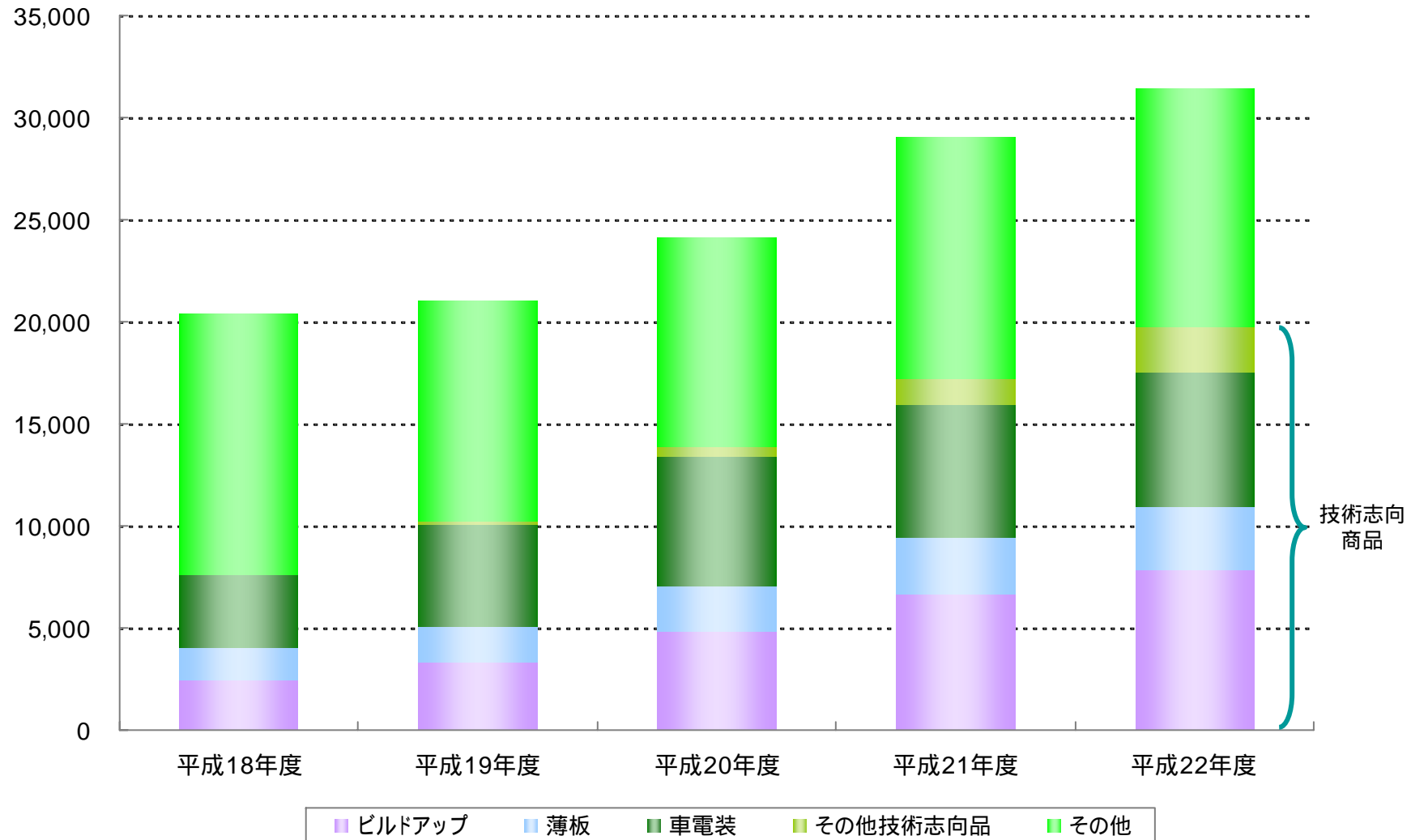
【生産品目毎に最適生産地で集中生産し、生産効率を高める】

		現状	今後の方針
生産拠点	エルナー東北 青森工場	導電性高分子アルミ電解コンデンサ <u>大型チップ型アルミ電解コンデンサ</u> コイン型電気二重層コンデンサ <u>巻回型電気二重層コンデンサ</u>	導電性高分子アルミ電解コンデンサ コイン型電気二重層コンデンサ
	タニンエルナー (タイ)	小型アルミ電解コンデンサ (<u>小口径</u> , <u>大口径</u>) 大型アルミ電解コンデンサ 巻回型電気二重層コンデンサ	小型アルミ電解コンデンサ (<u>大口径</u>) 大型アルミ電解コンデンサ <u>大型チップ型アルミ電解コンデンサ</u> <u>巻回型電気二重層コンデンサ</u>
	エルナーソニック (マレーシア)	小型アルミ電解コンデンサ (小口径) 小型チップ型アルミ電解コンデンサ <u>大型チップ型アルミ電解コンデンサ</u>	<u>小型アルミ電解コンデンサ (小口径)</u> 小型チップ型アルミ電解コンデンサ
	立揚電子 (中国)	タンタル電解コンデンサ	タンタル電解コンデンサ

- . プリント回路事業の取組み ~ 技術志向商品の拡販

【プリント回路事業の国内売上高推移】

【単位:百万円】

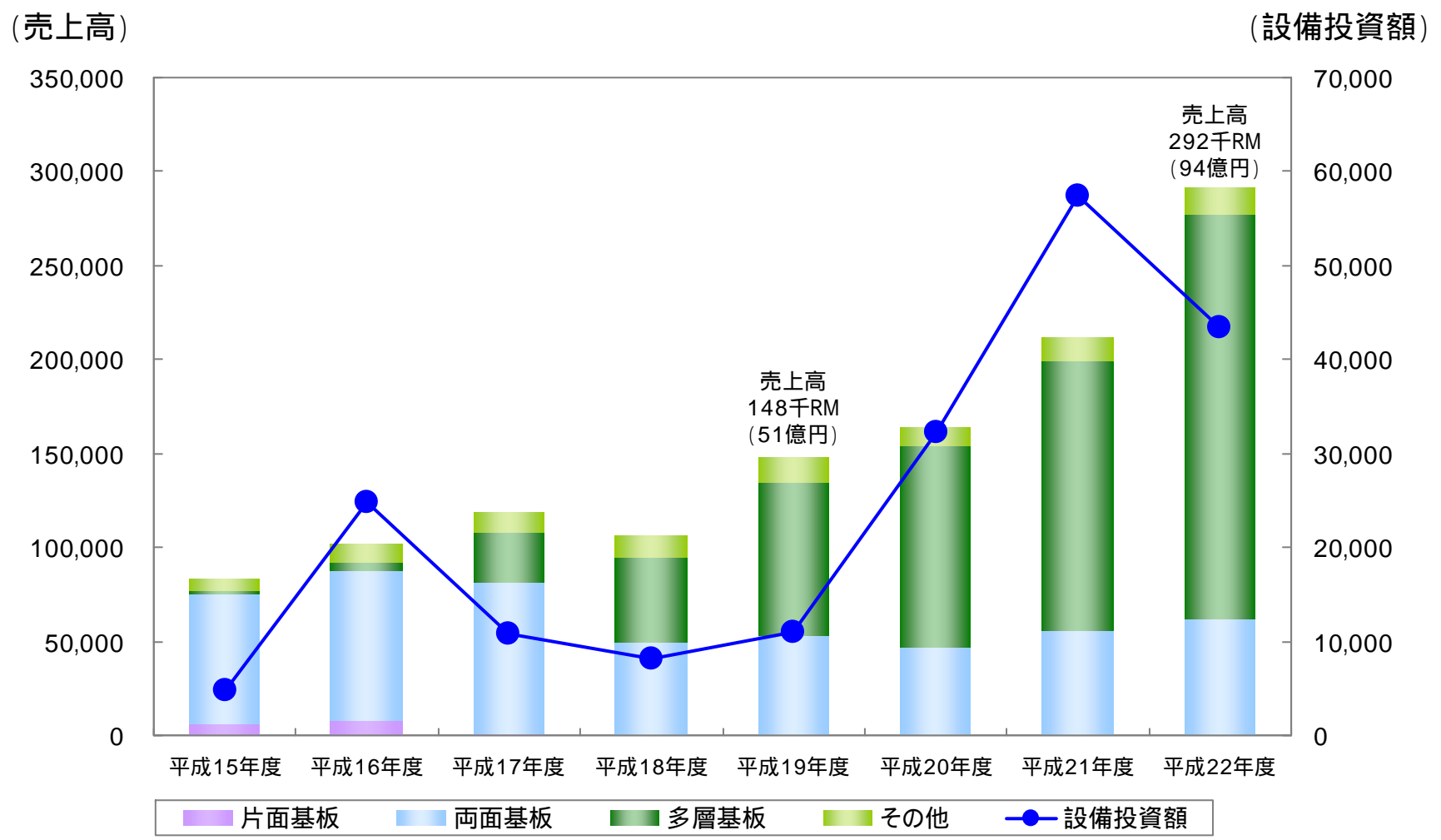


プリント回路事業の取組み ~ ASEAN地域への拡販

【海外での売上高および設備投資額推移】

(棒グラフが売上高、折線グラフが設備投資額)

【単位:RM(マレーシアリングット)】



本日のご説明内容

- ・ 平成19年12月期 通期業績のご説明
 - ・ 連結決算の概要
 - ・ 事業セグメント別損益（コンデンサ事業）
 - ・ 事業セグメント別損益（プリント回路事業）
- ・ 経営方針および平成20年12月期 業績予想
 - ・ 経営方針と具体的な取組み
 - ・ 平成20年12月期 業績予想
- ・ エルナーの製品展開

- . 平成20年12月期 業績予想

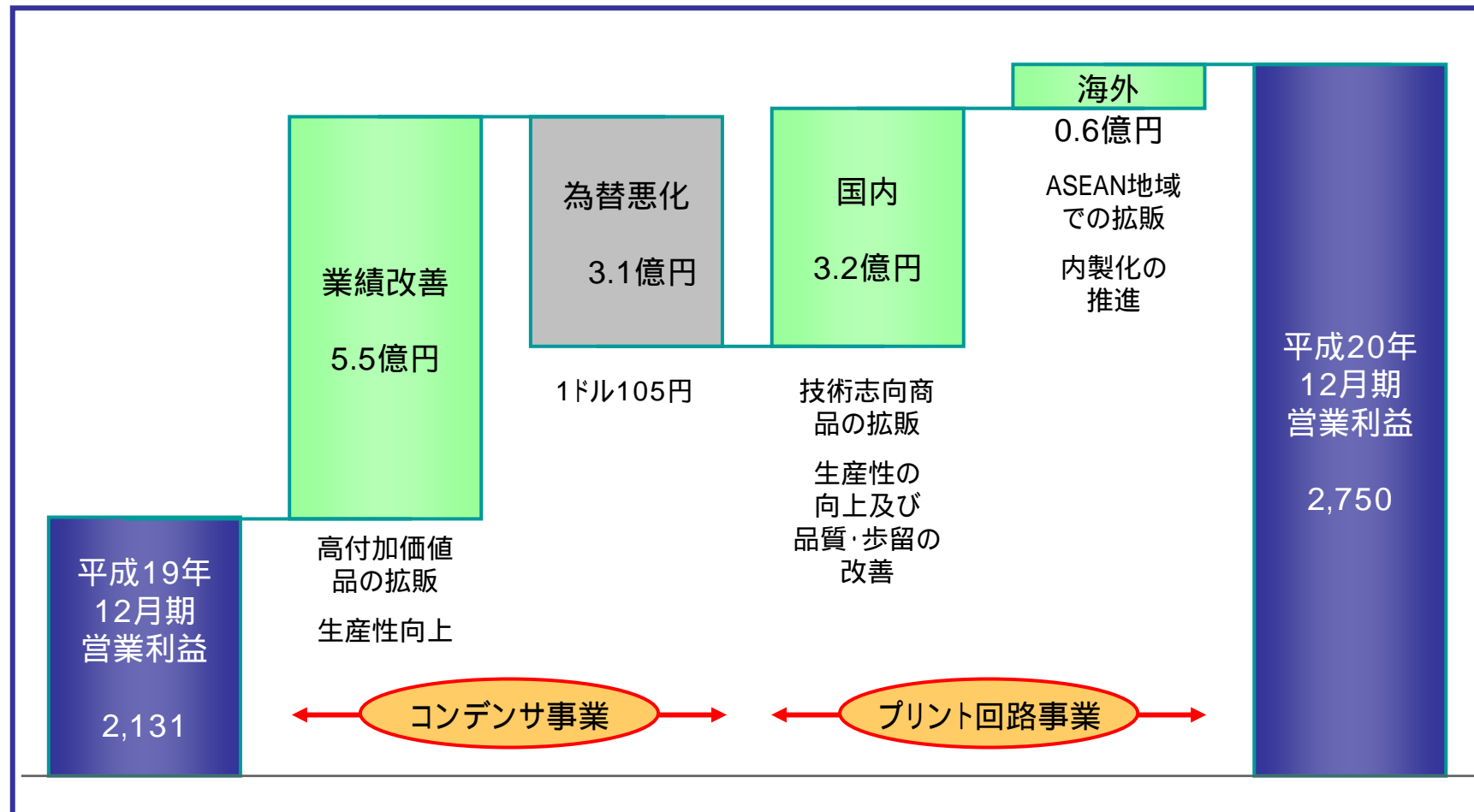
単位：特に記載のないものは百万円

	平成18年12月期 実績		平成19年12月期 実績		平成20年12月期 予想	
売上高	37,273	100.0%	39,203	100.0%	42,300	100%
コンデンサ	13,674	36.7%	13,395	34.2%	13,000	30.7%
プリント回路	23,599	63.3%	25,808	65.8%	29,300	69.3%
営業利益	867	2.3%	2,131	5.4%	2,750	6.5%
コンデンサ	314	2.3%	315	2.4%	550	4.2%
プリント回路	1,181	5.0%	1,816	7.0%	2,200	7.5%
経常利益	316	0.8%	1,435	3.7%	2,000	4.7%
当期純利益	189	0.5%	1,292	3.3%	1,350	3.2%
1株当り純利益	5.12円	-	31.08円	-	32.45円	-
設備投資額	2,659		1,686			
減価償却費	1,722		1,874			

- 平成20年12月期 業績予想

【平成20年12月期の業績改善要因】

【単位:百万円】



本日のご説明内容

- ・ 平成19年12月期 通期業績のご説明
 - ． 連結決算の概要
 - ． 事業セグメント別損益（コンデンサ事業）
 - ． 事業セグメント別損益（プリント回路事業）
- ・ 経営方針および平成20年12月期 業績予想
 - ． 経営方針と具体的な取組み
 - ． 平成20年12月期 業績予想

・ エルナーの製品展開

. エルナーの展開フィールド ~ コンデンサ

エルナーのコンデンサは、最先端ゲーム機器や自動車に搭載されています。



ソニー・コンピュータエンタテインメント社製の「プレイステーション3」には導電性高分子固体アルミ電解コンデンサが、PSP®「プレイステーション・ポータブル」にはコイン型電気二重層コンデンサが使用されています。

“プレイステーション”および“PSP”は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。



【小型アルミ電解コンデンサ】

【チップ型アルミ電解コンデンサ】



【導電性高分子固体アルミ電解コンデンサ】

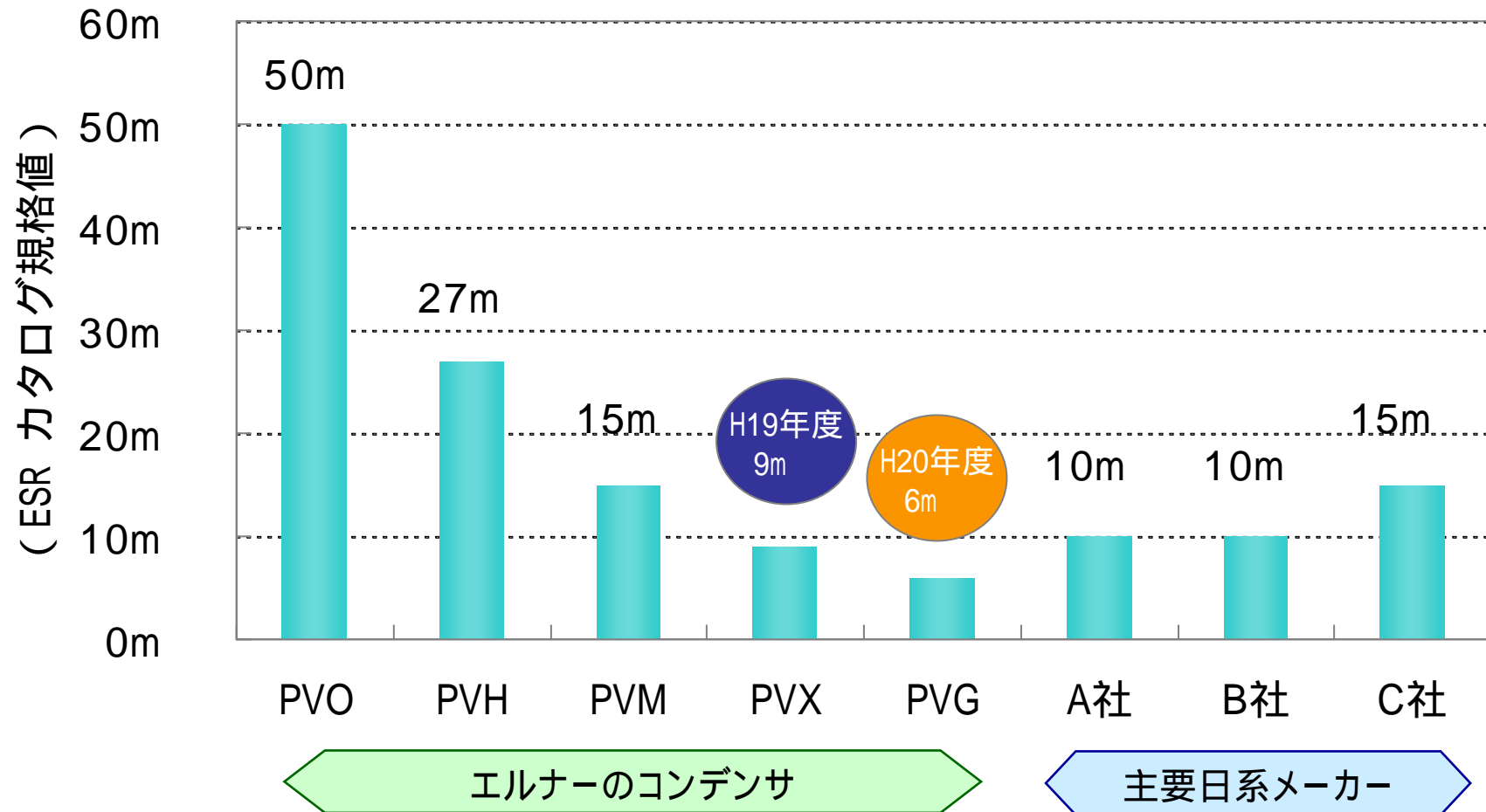
【コイン型電気二重層コンデンサ】



独・ダイムラー社の「メルセデンス・ベンツ」には小型アルミ電解コンデンサ、チップ型アルミ電解コンデンサが使用されています。

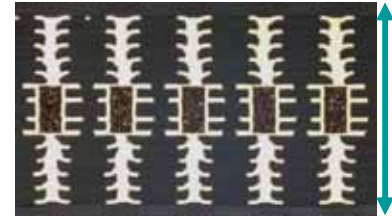
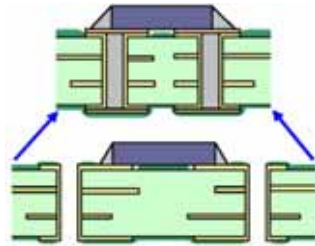
導電性高分子アルミ電解コンデンサ

エルナー独自の技術により、低ESR化分野において業界をリードしています。(ESR=Equivalent Series Resistance 抵抗値)

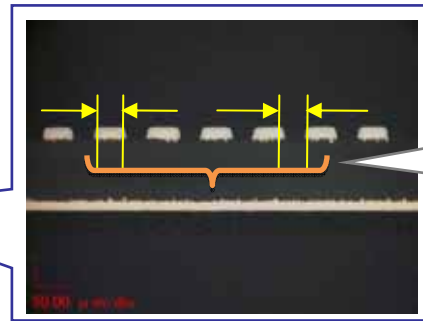
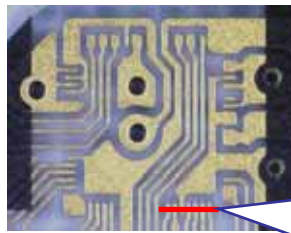


. エルナーの展開フィールド ~ プリント配線板技術

「高密度化技術」
「多層化技術」



約1.3mm



【現行】
線幅・線間隔...40 μ m
1cm当り 約125本

【開発品】
線幅・線間隔 35 μ m
1cm当り 約143本

「ファイン化技術」

「薄板化技術」



【現行】
約0.3mm

約30%
極薄化



【開発品】
約0.2mm

本資料に関する注意事項

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、戦略、方針、計画、予定等のうち、既に確定した事実ではない記載につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて、当社グループが合理的に判断した予想であり、実際の業績や決定する事実は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

実際の業績に与えるリスク要因や不確実な要素には以下のものが含まれます。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

経済状況の変動によるリスク、為替レートの変動によるリスク、金利の変動によるリスク、価格競争によるリスク、原材料等の調達に関するリスク、海外進出に潜在するリスク、製品の欠陥によるリスク、新商品の開発に関するリスク、環境規制に関するリスク、災害等によるリスク